

ケアマネジャーの仕事 ～地域での暮らしを応援します～

ケアマネジャー(介護支援専門員)は、介護保険制度が創設された当初より、適切な介護サービスを受けられるよう介護を必要とする人と、サービスを提供する事業者をつなぐ役目を担ってきました。

介護が必要になっても、住みなれた地域でできるだけ自立した生活をおくれるように、その相談内容は多岐にわたります。今回は、そんなケアマネジャーの仕事について紹介します。

ケアマネジャーの主な役割

- ・本人、家族からの相談対応
- ・ケアプランの作成
- ・サービス事業者や関係機関との連携、調整
- ・介護サービスの関わる給付管理

介護に関するだけでなく、医療との連携や地域とのつながりも意識し、幅広い視点で本人の暮らしを支えています。



日常の業務の流れ



最近、物忘れが多くなって…

歩くのがつらくなってきたわ。

①相談受付

本人や家族から現在の生活や介護の困りごとなどについて相談を受けます。介護保険サービスを利用する場合は、「要介護認定」を受ける必要があるため、情報提供や援助を行います。

②困りごとの整理(アセスメント)

自宅を訪問し、本人や家族と面談。現在の生活状況を把握し、どのような生活を望んでいるか聞き取る中で、困りごとについて整理し、現状の課題を分析します。

③ケアプランの作成

希望する生活の実現や自立した生活を送るために、適切な介護サービスの利用を組み合わせたケアプランを作成します。サービス事業者の紹介や、サービスの内容、日時などの調整を行います。

④サービス事業所等との連携

サービス事業者や主治医などとケアプランを共有し、サービス担当者会議の開催などにより支援の方向性を確認します。それぞれの専門性を活かして本人の暮らしを支えます。

⑤モニタリング

少なくとも月に1回は自宅を訪問し、本人の健康状態やケアプランの実施状況を確認し、必要に応じてケアプランの見直しを行います。

ケアマネジャーになるには？

年1回実施
次回10月13日(日)

STEP1「介護支援専門員実務研修受講試験」を受験、合格
→受験するためには、介護福祉士、社会福祉士などの資格取得後、5年以上かつ900日以上の実務経験が必要です。
相談援助業務の実務経験による方法もあります。

STEP2「介護支援専門員実務研修」を受講、修了

ケアマネジャー資格取得!!



作成したケアプランにより、利用者の生活や健康状態が改善したり、本人や家族から感謝されるなど、やりがいを感じることも多い仕事です。

